

銚子川「ゆらゆら帯」 自然の生き物を観察

紀北で親子ら

紀北町を流れる銚子川の河口付近で二十九日、川の生き物などを観察する「銚子川ゆらゆら帯観察」が開かれた。

東紀州地域の自然や植物、生き物について学んでもらおうと、県立熊野古道



川の生き物を観察する田上さん姉と参加者ら。紀北町相賀の銚子川で

センターが主催。NPO法人ふるさと企画舎理事長の田上至さん(左)が講師を務めた。

銚子川河口部は透明度が高く、淡水と海水が二層になり「ゆらゆら帯」と呼ばれる様子を見ることができると、田上さんが水中にカメラを入れ、参加者はタブレット端末に映された二層に分かれる川の様子を興味深そうに見つめ、川にすむ希少な生き物を見つけようと夢中になって探していた。田上さんは「銚子川は三重県が世界に誇る川。マナーを守って川遊びを楽しんで」と呼び掛けた。

津市から親子で参加した牧田樹季君(左)は「ハセを見つけてうれしかったけど、イドミミスハセは見つけることができなくて悔しかった」と話した。

(讀井絢香)